

04号

2014年
3月15日

新小山市市民病院だより

目次

理事長挨拶 01

ドクター紹介 02

DPC 病院移行 03

部門紹介・お知らせ 04

「地域完結型医療」って、なーに？

地方独立行政法人新小山市市民病院が誕生して、間もなく1年を迎えます。今月には待望の新病院建設の起工式を行います。そして、平成28年1月からの新病院開院に向けて、病院の経営改善、病院スタッフの確保という明確な目標に向かって、様々に取り組んできました。最終的な成果は、地域の方々から、「私たちには新小山市市民病院がある」と誇りに思っただけの病院になることです。病院職員の意識や姿勢も、そのような方向に向かって、着実にあゆみはじめました。

さて、この4月からは、全国的に医療提供体制に大変革が起きることが予想されています。病院や診療所の収入は、診療報酬という公定価格で定められています。それぞれの病院は、「身の丈にあった」医療を提供しないと、収支が合わなくなるような診療報酬制度の改定となります。病院は、急性期か慢性期か、重症か軽症か、どのような患者さんを主として受け入れる機能を持つのか、各機能別に選択しなければなりません。各医療機関が機能別にそれぞれの役割を分担しながら、互いに連携することによって、地域の医療提供体制をつくりあげていくことを「地域完結型医療」と呼んでいます。団塊の世代が75歳に達し、爆発的に医療・介護需要が高まる2025年を見通した国の政策です。

新小山市市民病院の役割とは、24時間365日、入院を要する救急患者さんを受け入れ、また「1次」医療を受け持つ地域の診療所などで対応できない患者さんをご紹介頂き、診断、手術や薬などの治療が終われば、その後は、本院と連携をとりながら最寄りの診療所で診ていただく、という「2次」医療を主とした「地域医療支援病院」となることです。本院では対応できない高度医療を要する患者さんは、大学病院等「3次」病院にお任せします。

私たちは、この1～2月に、市職員の方々とともに、小山市内10の各公民館で「地域完結型医療」について、ミニ講演会を開催し、市民の皆様にご理解とご協力をお願いしました。寒さと大雪にも関わらず、熱心にご参加頂いた皆様に感動しました。その時にもお願いしましたが、**小山市に帰って病院に勤務したい医師そして看護師等の情報**がありましたら、是非とも私どもにお寄せください。

今後とも、新小山市市民病院に対するご支援、ご鞭撻の程、よろしく申し上げます。

平成26年3月

新小山市市民病院 理事長・病院長 島田 和幸

TOPICS

自治医科大学新おやま市民病院 地域医療教育センター(仮称)が開設

地域で医療人を育成し、地域に循環するシステムを構築することを通じ、小山市の地域医療の向上に寄与することを目的とする活動の拠点施設として、4月より当院に「自治医科大学新おやま市民病院地域医療教育センター(仮称)」が開設される予定です。同センターには自治医科大学から教員2名が配置され、内科・総合診療科においての診察と併せて医学生や研修医の教育・指導が行われます。



**医師・看護職員を
募集しています。**

～私たちと一緒に働きませんか～

当院では、医師・看護職員を募集しております。院内保育所も開所しました。ご連絡をお待ちしております。

① 医師募集

地域に根差した病院をめざし「病院力」を高めるため、当院では新病院に向けて、只今積極的に医師の採用を進めております。

地域医療に興味のある方、そろそろ地元に戻ろうとお考えの方はぜひ一度お問い合わせください。

② 看護職員

平成26年度第1回採用試験

試験日:5月28日(水)

対象者:助産師、看護師、看護補助者

③ 看護補助者(臨時)

10名募集しています。

年齢:18才～50才位までで、経験は問いません。(研修制度あり)夜勤の出来る方は、正規職員への道あり。

※臨時看護職員は随時募集中です。

④ 薬剤師(正規職員)

若干名募集しています。

対象者:昭和48年8月1日以降に生まれた方で有資格者

⑤ 薬剤師(臨時職員)

2名募集しています。

※各職、詳細につきましては下記までお問い合わせください。

(問い合わせ先)

総務課人事厚生係 ☎21-3886

地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0028
栃木県小山市若木町1-1-5

☎0285-21-3800 (代表)

↑ <http://www.hospital-oyama.jp>



DPC病院に移行します

従来入院診療費は、診療行為ごとの点数をもとに計算する「出来高払い方式」で請求してきましたが、4月からは、病名や治療の内容に応じて分類される「包括医療費支払い制度方式(DPC)」の新たな計算方式により医療費を計算します。

なお、患者さんの支払い方法は基本的には変わりません。



透析治療送迎サービス始動!



当院で透析治療を受けられる方を対象に、無料送迎サービスを開始します。運行開始は5月頃を予定しております。基本的には当院で設定したルートによる乗合運行となります。また、利用するに当たって一定の利用条件等がございます。詳しくは詳細がまとまり次第、院内設置のご案内や当院ホームページ等でお知らせいたします。

カード決済・電子マネー決済のサービス開始!

3月より入退院会計窓口と健診センターにおきまして、クレジットカード(JCB、VISA、MasterCardなど)によるカード決済サービス、また電子マネー(nanaco、WAON、Suica、Edyなど)による電子マネー決済サービスを開始しました。

退院時の医療費支払いの為に、手元に現金を持っておく必要や盗難の心配がありません。また、支払いをするときに、現金を数えて出すなどといった必要もなく、カード1枚を渡せばすぐに決済できます。

是非、入院費の高額医療費と人間ドック受診時等の支払いにご活用ください。



看護師等修学資金制度について

当院では、看護師等の養成施設に在学または入学する方で、卒業後に新小山市市民病院において看護業務に従事して頂ける方に対して、予算の範囲内において修学資金を貸与させて頂く制度を設けております。

現制度では、月額最大60,000円を限度に毎年10名程度を募集しております。当院に勤務して頂き一定の基準を満たすことにより、返還を免除されることがあります。詳しくは当院総務課人事厚生係までお問い合わせください。

事務部総務課人事厚生係 ☎21-3886



地域医療を考えるミニ講演会が開催されました。

平成26年1月18日(土)から、5日間で市内10カ所の公民館を回り、「地域医療を考えるミニ講演会」を開催させていただきました。

南岸低気圧が接近する記録的な大雪の中での講演もありましたが、天候にも負けず多くの皆様にご来場頂き、盛況のうちに終了することが出来ました。たくさんのご参加ありがとうございました。

今後も、このような市民の皆様とふれあう機会、当院を知って頂く機会を充実させ、継続していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



島田病院長講演

「ここが知りたい！血管を強くする**新常識**」

多賀谷保健師講話

「地域完結型医療ってナーニ」

『地域完結型医療ってナーニ』より

『地域完結型医療』とは、それぞれの病院や診療所・クリニック等がその特長を活かしながら役割分担をすることで、効率的・効果的に、また切れ目のない医療を提供していこうというものです。厚生労働省では、『医療機関を ① かかりつけの診療所・クリニック ② 地域医療支援病院 ③ 大学病院 とおおまかに3つの構造に分け医療を提供すること』と定めていますが、小山市周辺ではこの中の地域医療支援病院の指定を受けている病院はありません。



地域医療支援病院の指定を受けるためには、

- ・地域の診療所
- ・クリニックとの連携体制を取っていること
- ・救急医療と入院加療・検査を主に行うこと
- ・研修ができる体制であること

などの要件があります。

当院の規模や地域での役割を考えると、当院が地域医療支援病院の役割を果たす必要があります。限られた医療資源を活かすために、

『クリニック等からの紹介状を持参し、
また当院の治療が落ち着いたら紹介状を持ってクリニック等へ戻る』

という仕組みをぜひご理解いただき、市民の皆様には当院を受診する際、紹介状をご持参するようご協力をいただきたいと思います。

このコーナーでは、各部署の紹介を行います。

☆ドクター紹介☆



1月以降採用の
新しい医師を
ご紹介します。

心臓血管外科

科長心得

佐藤 弘隆

来月4月から、総合診療医師、糖尿病医師、呼吸器内科医師、小児科医師も増員の予定になっております。

詳しくは、ホームページまたは、院内掲示版をご覧くださいませよう願ひ致します。

次号でご紹介させていただきます。

リハビリテーション(Rehabilitation)とは、Re(再び)・habilitation(適合させる)ということが本来の意味です。

発症や受傷以前の能力を取り戻すこと、障害をもった方が再び人間らしく生きる権利を回復することがリハビリテーションの目的です。

当院のリハビリテーション部門は、整形外科・神経内科・脳神経外科・内科・外科・循環器内科などの入院、外来患者さんのリハビリを行っています。

また、急性期から亜急性期まで継続したリハビリ提供体制をとり、充実したサービスを提供できるようスタッフ全員で日々努力しています。

平成25年度からスタッフが増員となり、理学療法士11名、作業療法士5名、言語聴覚士2名の体制で一人の患者さんに対し他職種及び複数のスタッフの介入が可能となりました。また、チームの一員として医師や看護師、医療相談員と密に連携をとりあっています。

今後も患者さんやご家族の思いを大切に、個々のニーズに応じた最大限の機能回復に努め、多様な生活の場に良い状態で戻れるように励んでいきたいと思ひます。

🎁ご寄附について🎁

当院では、昨年4月からご寄附のお願いをさせて頂いておりますが、今までに多くの方からご寄附を頂戴しました。職員一同、感謝申し上げます。

頂いたご寄附は、新病院建設や医療機器整備等に有効活用し、市民の皆様にも還元できますよう今後も努めて参ります。

また、引き続きご寄附を受け付けさせて頂いております。皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い致します。詳しくは、当院 総務課 経理用度係までお問い合わせください。

事務部総務課経理用度係 ☎21-3811

◇寄付者一覧

(平成26年2月1日現在)

日付	団体名(ご寄附者)	金品等
2013. 4/ 1	小山商工会議所女性経営者会 様	車椅子 2台
4/22	匿名 様	胡蝶蘭1鉢
8/29	小原一登 様	¥10,000-
9/ 3	今井康久 様	29型液晶テレビ他
10/31	匿名 様	¥100,000-
11/21	匿名 様	¥100,000-
12/20	小野寺文雄 様	¥500,000-
12/24	渡邊昭平 様	¥1,000,000-
2014. 1/10	船田勇一 様	¥10,000-
1/17	本間寛之 様	¥30,000-

※事前にご承諾頂いた方のみ、お名前を掲載させて頂いております。

🎁新小山市民病院公式Facebookページを開設しました。🎁

12月から当院公式Facebookページを開設しました。

当院の取組活動や、イベント等の情報、採用情報、まもなく着工する新病院建設に関する情報など、様々な情報をよりタイムリーに掲載していきます。

Facebookにユーザー登録されている方はぜひ一度ご覧いただき、「いいね！」もしくはシェアをして頂ければ幸いです。またユーザー登録されていない方も閲覧は可能ですので、ぜひご覧ください。

Facebookユーザーの方はFacebookの上段の検索バーで「地方独立行政法人新小山市民病院」と入力して検索してください。それ以外の方は右記のURLを直接入力するか、当院ホームページの右下部にある「関連リンク」を開いて頂き、その中の「新小山市民病院公式Facebookページ」をクリックしてください。携帯電話・スマートフォンなどをご利用の方はQRコードをご利用ください。※Facebookページを運用するにあたり、記事掲載やコメントの記載について当院としての運用方針を策定しております。詳しくは公式ホームページ右下部の「Facebookページ」をご覧ください。



公式Facebookページ

<http://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>